

淀川水系流域委員会 第 101 回運営会議 (2008.12.25 開催) 結果報告		2009.1.7 庶務発信
開催日時	2008 年 12 月 25 日 (木) 10:00 ~ 11:50	
場 所	大阪合同庁舎第 1 別館 2F 第 3 会議室	
参加者数	委員長、副委員長 : 3 名、委員 : 2 名、河川管理者 : 3 名、一般傍聴者 : 6 名 (マスコミ含む)	

1 . 決定事項

1~3 月の委員会開催予定日について

1 月の委員会開催日は以下の通り。

- ・第 83 回委員会・・・1 月 20 日 (火) 午前

2 月以降の委員会は以下が候補日とされたが、正式な委員会日程および審議内容については 2 月初旬頃運営会議を開催し、検討した上で改めて決定。

- ・第 84 回委員会・・・2 月 23 日 (月) 午後
- ・第 85 回委員会・・・3 月 30 日 (月) 午後

第 83 回委員会における審議内容について

- ・委員会が事業進捗点検を行う際のやり方について河川管理者から説明するとともに、各事務所が設置している委員会の審議内容や状況についても説明を行う。同時に、委員長・副委員長案として、流域委員会だからこそ出来る事業進捗点検の進め方について提案し、議論する。

また、これまでの事業進捗点検のレビューも行う。

今後の予定について

- ・委員会としては 7 月中を目処に事業進捗点検への意見をまとめる。
- ・意見とりまとめにあたっては現地視察も必要であるが視察の方法、日程等の詳細については委員会にて諮る。

運営会議への委員の参加について

- ・委員長、副委員長以外の委員は、従来と同様に運営会議への参加、発言は可能であるが、決定事項については委員長、副委員長の協議により決定する。

その他

- ・結果報告 (案) については委員長、副委員長、河川管理者へ送付し、委員長および河川管理者の確認をもって確定とする。

2 . 報告の概要

- ・庶務より前回運営会議以降の経過報告がなされた。

3 . 審議

事業進捗点検の進め方について : 主な内容は以下の通り (例示)

- ・事業進捗点検の進め方はいろいろ考えられるため、まずは委員会で進め方について議論を行ってはどうか (委員長)
- ・継続可能な進め方が必要だろうと考えている。点検対象項目が細かすぎて大変な労力が必要になってもいけないし、逆に大まかすぎて精度が粗くなってしまってもいけない (河川管理者)
- ・各事務所で設置している委員会との役割分担を明確にした上で、事業進捗点検の観点について、次回委員会にてお示ししたいと思っている (河川管理者)
- ・第 3 期からの委員は事業進捗点検自体の内容も把握していない人が多いと思う。まずは事業進捗点検状況をご説明頂くのがいいと思っている (委員長)
- ・委員会としてどこに焦点を合わせて事業進捗点検を進めていくか、流域委員会だからこそできる進捗点検の進め方について次回委員会では議論したい (委員長)
- ・事業進捗点検を進めるには分野別あるいは地域別にグループをつくって検討する方が効率的だろう。
- ・事業進捗点検を行うには現地視察も必要。例えば、地域ごとに最終意見をまとめる責任者を数名決めて、それら数名のグループを中心に現地視察を行うという方法も考えられる。
- ・河川管理者の各事務所には目的別の委員会があり、そこと同じ内容を流域委員会で議論しても意味がない。流域全体を踏まえた総合的な観点から事業進捗点検を行う必要がある。
- ・次回委員会で提案する事業進捗点検の進め方のたたき台作成のため、委員長、副委員長で集まり作業を行う必要がある (委員長)

4 . その他

- ・委員長より次回委員会にて近畿地方整備局長の挨拶を頂きたい旨の要請があった。

以上

運営会議の結果報告は、主な決定事項等の会議結果をお知らせするために庶務から発信させて頂くものです。